

## 長く農業を続けるために

水稲約1畝と、カボチャやキャベツなどの多品目野菜1.6畝を栽培しています。

2018年の西日本豪雨で農地に大きな被害を受けたこともあり、収入保険には、翌年制度化されてすぐに加入しました。

昨今の農業は必要経費の高騰が顕著ですが、専業農家の私は、収入を確保できないと農業の継続も生活していくことも難しくなります。いつ起こるか分からない万が一への備えとして、今後も加入していくつもりです。

これからは体力に合わせた農業を、長く続けていきたいですね。

(広報紙「NOSAI広島」2024年 第40号より)



三原市本郷町 花岡 達男さん (73歳)